

様式第 5 号（教育実習実施計画に関する書類）

教 育 実 習 等 実 施 計 画	
1	教育実習等の内容及び成績評価等
①	<p>教育実習等の時期</p> <p>教育実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園・小学校：3 年次の 10 月 ・中学校：4 年次の 10 月 <p>養護実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護実習Ⅰ：2 年次の 2 月 ・養護実習Ⅱ：4 年次の 10 月
②	<p>教育実習等の実習期間・総時間数</p> <p>教育実習指導：事前及び事後の指導（1 単位：30 時間）</p> <p>教育実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園実習（4 週間：120 時間） ・小学校実習（4 週間：120 時間） ・中学校実習（4 週間：120 時間） <p>養護実習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護実習Ⅰ（1 週間：30 時間） ・養護実習Ⅱ（3 週間：90 時間）
③	<p>実習校の確保の方法</p> <p>教育実習（幼稚園）</p> <p>神戸常盤大学附属ときわ幼稚園及び学生居住地市教育委員会へ大学が一括申請（各公立幼稚園を所管する教育委員会へ実習を依頼）を行う。</p> <p>教育実習（義務教育）</p> <p>大学が一括申請（それぞれの小学校・中学校を所管する教育委員会へ実習を依頼）を行う。</p> <p>養護実習Ⅰ</p> <p>一括申請（所管する教育委員会へ実習を依頼する）及び学生の住所に近い特別支援学校に直接出向き依頼する。</p> <p>養護実習Ⅱ</p> <p>学生の出身校所属の教育委員会に一括申請及び系列校である神戸常盤女子高等学校で行う。</p>
④	<p>実習内容</p> <p>教育実習（幼稚園）</p> <p>幼児の主体的な活動を促し幼児期にふさわしい生活の展開がなされる幼稚園において教育の方法を理解する。幼児の活動する姿や、その活動を援助する教師の姿などを観察する参観実習や参加実習を行う。また、遊びを促す環境構成や幼児との直接的な関わりを通じ、幼児理解を深め、実習先指導教諭の実際の幼児へのかかわりや幼児教育・保育の方法などを学び、指導計画、指導案を作成し、部分保育・全日保育・研究保育等を行う。</p> <p>教育実習（義務教育）</p> <p>小学校・中学校において教育実践として、授業観察及び研究授業、教材研究、特別活動、生徒指導等</p>

の研究を行う。また、学級運営、教科指導、生徒指導、校務分掌、学校教育の意義について理解する。

養護実習

- ・養護実習Ⅰ：特別支援学校で、勤務する養護教諭の指導に従い、養護教諭の働きを中心に、特別支援教育の様子も含め、見学実習を行う。
- ・養護実習Ⅱ：地域の小、中または高等学校において、当大学の実習要領に基づいて実習担当養護教諭の作成した計画と指導に従って実習する。

⑤ 実習生に対する指導の方法

教育実習指導（幼稚園）

教育学部こども教育学科臨地実習委員会の幼稚園教育実習担当者が、本学附属幼稚園教諭をはじめ、教育委員会等と連携を図り、幼児教育実践に即した実習指導を行う。また、当該実習担当者が中心となり、実習先幼稚園担当教諭との連絡調整を行い、実習園から実習生に対する要望等を反映させる。

学生が実習園での保育内容を的確に把握できるよう、当該実習園オリエンテーション内容の把握及び実習日誌・実習チェックリスト等を活用して遺漏なきよう指導を行う。

幼児教育を展開していくにあたり、専門的技術と専門実習科目の振り返りと教材研究等を行う。

事後指導では、実習振り返りシートを活用し、実習の問題点の整理と対策について考え、各学生間の振り返りを共有する事によって自己覚知を図る。

臨地実習委員会では、当該委員全体が幼稚園教育実習を把握し、当該実習のスムーズな運営が行えるよう体制を整えている。

教育実習指導（義務教育）

教育学部こども教育学科臨地実習委員会の義務教育実習担当者が、近隣市教育委員会及び学生出身自治体教育委員会との連携を図り、児童生徒の教育実践に即した実習指導を行う。また、当該実習担当者が中心となり、実習先小学校・中学校担当教諭との連絡調整を行い、実習校から実習生に対する要望等を反映させる。

学生が実習校での教育内容を的確に把握できるよう、当該実習校オリエンテーション内容の把握及び実習日誌・実習チェックリスト等を活用して遺漏なきよう指導を行う。

教育実践を展開していくにあたり、専門的技術として、専門実習科目の振り返りと教材研究・教科指導等を行う。

事後指導では、実習振り返りシートを活用し、実習の問題点の整理と対策について考え、各学生間の振り返りを共有する事によって自己覚知を図る。

臨地実習委員会では、当該委員全体が教育実習を把握し、当該実習のスムーズな運営が行えるよう体制を整えている。

教育実習指導（幼稚園・義務教育）共通事項

実習巡回指導については、教育学部こども教育学科専任教員全員を振り分け実施する。当該学科臨地実習委員会及び当該学科会議において実習前に巡回指導教員担当の確認、実習生との巡回教員との事前打ち合わせ等を行い、巡回のスケジュール、緊急時の連絡対応方法について確認する。加えて、実習に対する不安の解消や悩みの相談なども含めた対応を実習前指導の一環として行う。

実習巡回時には、実習先オリエンテーションの記録をもとに、実習に対する目標の達成度や課題について、実習生と学科教員の2者及び実習先指導教諭や管理職を交えた面接を行い、実習残り期間の充実を図るための調整を行う。

実習期間中は、学生と各実習担当者がメール等を活用した助言等バックアップ体制を整え、実習先指導教諭との連絡を密に図り、協議及び指導をとれる体制を確保する。

実習後、実習後振り返りレポートや実習日誌をもとに、各実習担当者が学生に実習事後指導（個別面談等）を行う。各実習先巡回時の情報や学生の様子などは、当該学科臨地実習委員会及び当該学科会議で報告を行い、学科教員全員における個々の学生の実習状況の共有化を図る。

養護実習指導

事前に、本学担当教員が実習校に出向き、指導養護教諭に本学実習要領について説明し、実習計画をお互いに確認する。また、養護実習期間中は本学教員が実習期間中巡回指導（1回）を行う。

⑥ 実習の成績評価（評価の基準及び方法）

※ 評価項目表、評価シート等がある場合は、本計画書に添付すること。

教育実習に関する成績評価書は、添付資料の通りである。

教育実習

実習校園からの学生に対する評価と、実習日誌等による学生の実習に対する取り組み、実習後の面接により実習意欲などを総合的に判断して、実習担当者がそれぞれに評価を行い、単位の認定をする。

養護実習

出席簿と指導養護教諭より記入された養護実習要領に示した評価項目・評価基準に基づく「実習評価表」及び、学生の実習記録簿（日誌とこの中には、校長及び指導教諭の講評も含まれる）、実習後の体験発表会の報告内容から、実習担当教員が総合的に評価する。

2 事前及び事後の指導の内容等

① 時期及び時間数

教育実習指導（幼稚園）（義務教育）

- ・事前指導（3年次 前期＜4月～8月＞：30時間）
- ・事後指導（実習終了後：11月に4時間）

養護実習指導

- ・事前指導（4年次 9月：12時間）
- ・事後指導（4年次 11月：4時間）

② 内容（具体的な指導項目）

教育実習（幼稚園）

＜事前指導＞

- ・幼稚園の役割と教育の基本（幼稚園の一日・職務内容）
- ・実習の目的・心構え（実習生としての自己課題明確化）
- ・実習園の把握（実習対象者との関わり方）
- ・神戸常盤大学附属ときわ幼稚園観察実習（観察記録の取り方）
- ・指導計画・指導案の作成（演習含む）
- ・実習日誌記入例と実習日誌相互点検
- ・教材作成
- ・教材研究 など

＜事後指導＞

- ・当該実習の問題点の整理と対策（個人・グループワーク）

- ・当該実習の評価：実習園からの評価、実習生の自己評価 など

教育実習（義務教育）

<事前指導>

- ・学校の役割と教育の基本
- ・実習の目的・心構え
- ・実習対象児童生徒との関わり方
- ・学校経営の方法
- ・学級指導の方法
- ・教材研究 など

<事後指導>

- ・小学校・中学校実習担当者と実習校指導教諭、学生との懇談
- ・当該実習の問題点の整理と対策（個人・グループワーク）
- ・当該実習の評価：実習校からの評価、実習生の自己評価 など

養護実習

<事前指導>

- ・第1回：講義：看護と養護の違いについて（養護教諭 OB から）
- ・第2回：講義：保健学習と保健指導について
- ・第3回：演習：保健指導・保健学習案作成のグループワーク
- ・第4回：演習：保健指導・保健学習の模擬授業
- ・第5回：演習：保健指導・保健学習の模擬授業
- ・第6回：演習：応急処置 など

<事後指導>

- ・第7回：全員の实習報告と養護実習により得られた成果及び問題点の確認
- ・第8回：全実習生の実習内容の共有と個別指導 など

3 教育実習に関して連絡調整等を行う委員会・協議会等（以下「委員会等」という。）

① 大学内の各学部・学科等との連絡調整を行う委員会等

- ・委員会等の名称

教育実習

- ・委員会等の名称：こども教育学科臨地実習委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）

こども教育学科実習担当教員（幼稚園実習担当者・1名、小学校実習担当者・1名、中学校実習担当者・1名、介護等体験担当者・1名、保育実習担当者（保育所）・1名、保育実習担当者（施設）・1名、実習指導室担当者・1名、その他・2名）

- ・委員会等の運営方法

毎月1回、年12回開催する。

こども教育学科において実施する各実習の情報（実習先、学生共に）を集約協議し、学生指導を行う。協議事項については毎月実施される学科会議で報告し、学科内で情報を共有する。

養護実習

- ・委員会等の名称：養護教諭課程委員会
- ・委員会等の構成員（役職・人数など）

養護実習担当者 3 名（教授 2 名、講師 1 名）と事務局教務課看護学科担当者 1 名と、看護学科長及び看護学科教務委員長、保健師課程責任教員の各 1 名

- ・委員会等の運営方法

実習時期や実習先を計画し、実習に関する問題点や課題について検討し、実習の改善を図るため、実習前後年 2 回定期的に委員会を開催する。

教育実習・養護実習共通

- ・委員会等の名称

教職支援センター

- ・委員会等の構成員（役職・人数など）

神戸常盤大学教育学部こども教育学科及び保健科学部看護学科の教職課程専任教員 6 名、教職支援センター職員 3 名

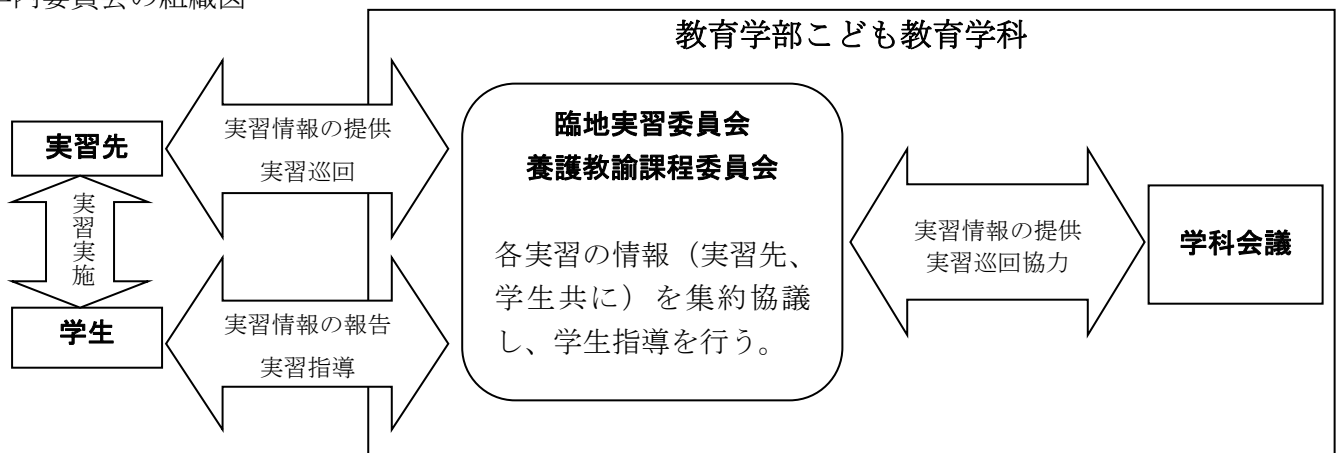
- ・委員会等の運営方法

毎月 1 回、年 12 回開催する。

教職支援センターは、教職課程の円滑な運営のための業務を行い、教員養成にかかわる情報の提供などの活動を教育学部こども教育学科、保健科学部看護学科、教務課と連携しながら行う。具体的には学生指導、教育実習に関する指導、教員採用試験対策などを含めた教職指導について各学科臨地実習委員会、教務課と連携しながら行う。教職課程についての基本方針を教育学部こども教育学科・保健科学部看護学科の合意のもとに検討し、決定することとする。また兵庫県教育委員会及び神戸市教育委員会、近隣の教育委員会と連絡や協力を得ながら、教育課程内外にわたる全般的な教職にかかわる運営を行う。

【委員会の組織図】

学内委員会の組織図



② 大学外の関係機関（例：都道府県及び市区町村教育委員会など）との連絡調整等を行う委員会等（※学校体験活動を含む場合は、大学と学校との連携体制についても記載すること。）

- ・ 委員会等の名称

神戸市教員育成協議会（神戸市）

- ・ 委員会等の構成員（役職・人数など）

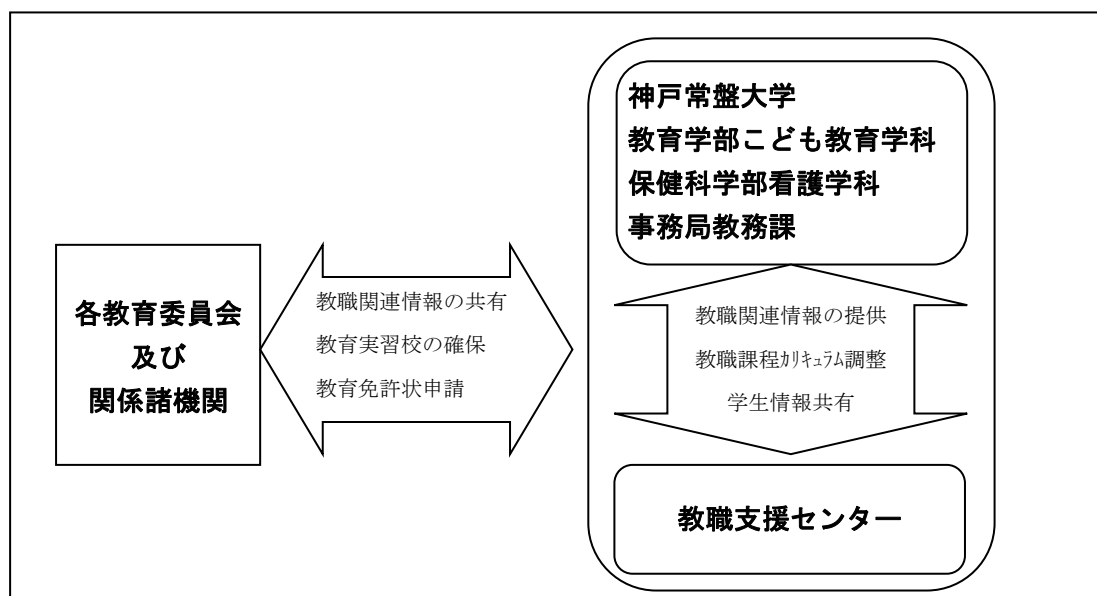
神戸市教育委員会教育部長、総合教育センター所長、学校教育課長、教職員課長、人事担当課長等、神戸市立幼稚園園長会・小学校校長会・中学校校長会・高等学校校長会・特別支援学校校長会会長、実習校代表者等 50 名程度。

- ・ 委員会等の運営方法

神戸市教育委員会主導で、年 2 回程度開催。実習についての双方の感想、意見、要望などを交換し、実習に関する向上を図る。

【委員会の組織図】

【学外委員会等との連携図】



4 教育実習の受講資格

教育実習

「神戸常盤大学 教育学部 専門実習科目履修細則」教育実習（幼稚園）・教育実習（義務教育）教育学部 専門実習科目の履修等に関する規定について、本細則に定める。

1. 専門実習科目の履修については、別表によるものとする。
2. 当該実習の停止については、以下に定める規定に基づき、臨地実習委員会の協議にて判断する。

(1) 実習前

- ①当該年度実習までに、実習指導の授業において無断欠席を繰り返した場合。
- ②実習指導の授業において遅刻を繰り返すなど、学習態度に問題があり、事前に本人に警告したにもかかわらず改善が見込めない場合。
- ③心身の健康状態により実習が困難な場合。

(2) 実習中

①実習中に正当な理由なく欠席した場合。 ②病気等の身体的・精神的事由により実習を継続できない場合。 ③実習施設で実習生として著しく不適切な言動があったと判明した場合。 3. 当該実習の単位不認定については以下のように定める。 ①実習が停止になった場合。 ②実習終了後、所定の期日までに実習記録等関係書類の提出がない場合。 4. 実習実施にあたり、当該学生の単位修得状況等を勘案し、臨地実習委員会の承認を得た上で、例外措置を認める場合がある。					
「神戸常盤大学 教育学部 専門実習科目 履修細則 (別表) <抜粋>」 1. 当該年度までに、学則に規定する卒業認定単位のうち、「基礎教育分野」「専門基礎分野」「専門分野」並びに「専門発展分野」から 40 単位以上を修得済みであること。 2. 「教育実習指導」を履修していること。 3. 2 年次前期に行う「教育実習説明会」に出席し、所定の手続きを完了していること。 4. 教育実習（義務教育）については「教科指導法」を 6 単位修得済みであること。					
養護実習 1. 「養護に関する科目」及び「教職に関する科目」の授業科目を履修している者。 2. 養護概説の教科を習得している者。					
実習校					
教育 実習	体験 活動	学級数の合計	幼稚園 0 学級、小学校 4089 学級、中学校 1784 学級 高等学校 0 学級、特別支援学校 0 学級		
○	×	教育委員会名	神戸市教育委員会	小学校：162 校	中学校：81 校
○	×	教育委員会名	加古川市教育委員会	小学校：28 校	中学校：12 校
○	×	教育委員会名	尼崎市教育委員会	小学校：41 校	中学校：17 校
○	×	教育委員会名	明石市教育委員会	小学校：28 校	中学校：13 校

神戸常盤大学教育実習成績報告票 (幼稚園)

実 習 生	学 籍 番 号		氏 名			
実 習 園 名						
配 当 学 年 学 級 名			担 任 名			
実 習 期 間						
出 席 状 況	要出席日数	出席日数	病欠日数	事故欠日数	遅 刻	早 退
	日	日	日	日	回	回
成 績 評 価	評価項目	評 価 の 内 容				評 価
	実習態度	誠実さ 適応性 積極性 協力態度 学びへの意欲 環境整備への関心				5 4 3 2 1
	保育者としての資質	幼児への愛情 明朗性 自主性 協調性 忍耐力 責任感 機敏性 その他				5 4 3 2 1
	指導計画	目標の理解 発達の考慮 指導案 創意工夫 教材の準備 導入への適性				5 4 3 2 1
	保育指導	幼児理解 環境構成 展開の技術 援助				5 4 3 2 1
	幼児との関係	生活指導 個別指導 遊びへの関わり				5 4 3 2 1
所 見					総 合 成 績	
					評定	評 定 点
					A B C D	25～21 20～16 15～10 9～
指 導 教 員 名		年 月 日				
<div style="border-bottom: 1px solid black; width: 100%;"></div> <div style="text-align: right;">⑩</div>		幼稚園名				
		園長名 <div style="border-bottom: 1px solid black; width: 100%;"></div> ⑩				

神戸常盤大学教育実習成績報告票
(義務教育)

実 習 生	学 籍 番 号		氏 名			
実 習 校 名						
配 当 学 年 学 級 名			担 任 名			
実 習 期 間						
出 席 状 況	要出席日数	出席日数	病欠日数	事故欠日数	遅 刻	早 退
	日	日	日	日	回	回
成 績 評 価	評価項目	評 価 の 内 容				評 価
	実習状況	学習意欲 実習態度 提出物 行事・活動への参加 その他				5 4 3 2 1
	教科指導	教材研究 言語・動作 指導案 指導法 準備 その他				5 4 3 2 1
	生徒指導	児童理解 集団指導 個別指導 その他				5 4 3 2 1
	学級指導	学級の指導 教室経営 学級事務 特別活動の指導 その他				5 4 3 2 1
	実習指導	着眼点 資料収集 論旨・論述 発表 その他				5 4 3 2 1
所 見					総 合 成 績	
					評定	評 定 点
					A B C D	25～21 20～16 15～10 9～
指 導 教 員 名		年 月 日				
<div style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 80%;"></div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">印</div>		学校名 校長名 <div style="border-bottom: 1px solid black; display: inline-block; width: 150px;"></div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-left: 5px;">印</div>				

養護実習Ⅰ成績報告票

大学名	学籍番号	実習生氏名
神戸常盤大学保健科学部 看護学科		

事項別評価

評価項目	主な着眼点	評価	備考
実習態度	実習生としての自覚	S・A・B・C・D	
	教職への自覚	S・A・B・C・D	
	養護実習記録	S・A・B・C・D	

S(秀):90~100点/A(優):80~89点/B(良):70~79点/C(可):60~69点/D(不可):59点以下

出席状況

実習期間	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	遅刻	早退
自 月 日 至 月 日	日	日	日	回	回

総合評価

総合評価	総合所見
S・A・B・C・D	

令和 年 月 日

学校名

学校長氏名

印

指導担当教諭氏名

印

養護実習Ⅱ成績報告票

大学名	学籍番号	実習生氏名
神戸常盤大学保健科学部 看護学科		

事項別評価

評価項目	主な着眼点	評価	備考
学校教育理解	学校教育に関する理解	S・A・B・C・D	
児童生徒指導	児童生徒の観察・理解	S・A・B・C・D	
	指導能力	S・A・B・C・D	
	指導態度	S・A・B・C・D	
保健活動	執務計画と準備	S・A・B・C・D	
	実施と事後処置	S・A・B・C・D	
	問題発見能力	S・A・B・C・D	
	個別保健指導	S・A・B・C・D	
実習態度	実習生としての自覚	S・A・B・C・D	
	教職への自覚	S・A・B・C・D	
	養護実習記録	S・A・B・C・D	

S(秀):90~100点/A(優):80~89点/B(良):70~79点/C(可):60~69点/D(不可):59点以下

出席状況

実習期間	出席すべき日数	出席日数	欠席日数	遅刻	早退
自 月 日 至 月 日	日	日	日	回	回

総合評価

総合評価	総合所見
S・A・B・C・D	

年 月 日

学校名

学校長氏名

指導担当教諭氏名

印

印

教育実習受入承諾書

令和4年3月24日

学校法人 玉田学園
理事長 旭 次郎 様

神戸市教育委員会
教育長 長田 淳

学校法人玉田学園が設置する神戸常盤大学教育学部こども教育学科の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 教育実習の受入に係る学部学科及び免許状の種類
教育学部こども教育学科（入学定員80名）
中学校教諭一種免許状（理科）
2. 学校種及び教育実習の受入時期
中学校（令和7年度以降）
3. 所管学校数（令和3年5月1日現在）

小学校	162校
中学校	81校
義務教育学校	1校

以上

※但し、神戸市立学校での教育実習希望者の受け入れについては、「神戸市立学校園 教育実習取扱要綱」で定めるものとする。

教育実習受入承諾書

令和 4 年 3 月 14 日

学校法人 玉田学園
理事長 旭 次郎 様

加古川市教育委員会
教育長 小南 克己

学校法人玉田学園が設置する神戸常盤大学教育学部こども教育学科の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 教育実習の受入に係る学部学科及び免許状の種類
教育学部こども教育学科（入学定員 80 名）
中学校教諭一種免許状（理科）
2. 学校種及び教育実習の受入時期
中学校（令和 7 年度以降）
3. 所管学校数（令和 3 年 5 月 1 日現在）
小学校 28 校
中学校 12 校

以上

教育実習受入承諾書

令和4年3月1日

学校法人 玉田学園
理事長 旭 次郎 様

尼崎市教育委員会
教育長 白畑 優

学校法人玉田学園が設置する神戸常盤大学教育学部こども教育学科の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 教育実習の受入に係る学部学科及び免許状の種類
教育学部こども教育学科（入学定員80名）
中学校教諭一種免許状（理科）
2. 学校種及び教育実習の受入時期
中学校（令和7年度以降）
3. 所管学校数（令和3年5月1日現在）

小学校	41校
中学校	17校

以上

教育実習受入承諾書

令和4年3月1日

学校法人 玉田学園
理事長 旭 次郎 様

明石市教育委員会
教育長 北條 英幸

学校法人玉田学園が設置する神戸常盤大学教育学部こども教育学科の教職課程に係る教育実習の受け入れについて、下記のとおり承諾します。

記

1. 教育実習の受入に係る学部学科及び免許状の種類
教育学部こども教育学科（入学定員80名）
中学校教諭一種免許状（理科）
2. 学校種及び教育実習の受入時期
中学校（令和7年度以降）
3. 所管学校数（令和3年5月1日現在）
小学校 28校
中学校 13校
4. その他
受入は明石市立中学校の卒業生を原則とする

以上